

わかるぞ！できるぞ！算数

1 単 元 6年 速さ

2 本時の目標

- 道のりは、速さ×時間で求められることが分かる。
- 数直線図を活用して、道のりを求めることができる。

3 準備物 パソコン、デジタルテレビ、教材（パワーポイント）、 実物投影機、 ホワイトボード

4 過 程

（1）学習課題をつかむ。

時速120kmで走る電車があります。
この電車が、3時間走り続けるとすると、何km進むでしょう。

学習課題

数量の関係を数直線図に表し、道のりを求めよう。

時速120kmで走る電車があります。
この電車が、3時間走り続けるとすると、何km進むでしょう。

120km → 電車の時速
3時間 → 電車が走り続けた時間
◎ → 電車が進んだ道のり

自分で解決する
時間だよ。

T 分かっていることを言いましょう。

C 120kmと3時間です。

※ 答えを◎で表すことを知らせる。

T 分かっている数量や答えを言葉で表しましょう。

120km → 電車の時速
3時間 → 電車が走り続けた時間
◎ → 電車が進んだ道のり

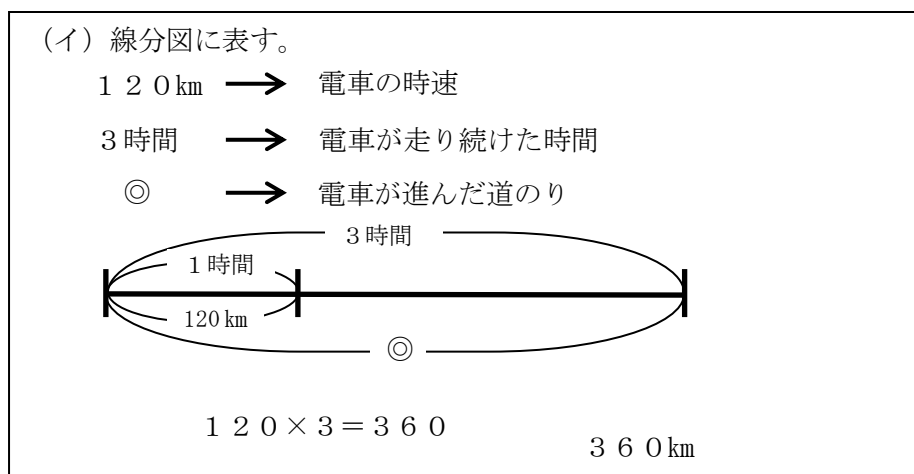
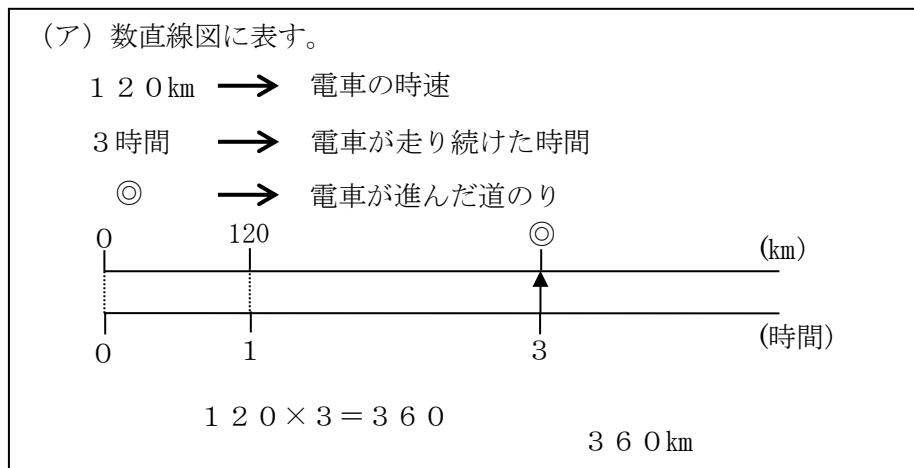
T 今日は、道のりを求める問題を解きます。数量の関係を数直線図にかいて答えを求めましょう。

数量の関係を数直線図に表し、道のりを求めよう。

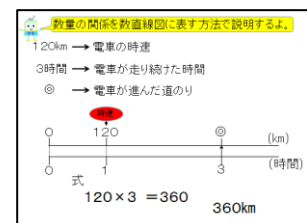
※ 教科書のような線分図も可とする。

（2）数直線図に表して、問題を解決する。

※ 児童の主な反応例



※ 児童の実態に応じて、スライドで補足説明してもよい。



(3) それぞれの考え方を発表し、話し合う。

T 友達の考えを聞いて、気の付いたことを発表しましょう。

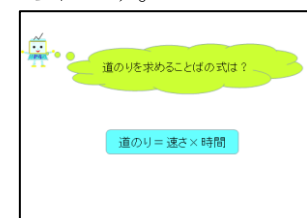
C (ア) のような数直線図に表すと、3 時間進んだ道のりを求めることがよく分かります。

C 道のりは、時速に時間をかければ求められることが分かりました。

(4) 道のりを求める式を知る。

T ○○さんが言ったように、道のりは、速さに時間をかければ求められます。

道のり = 速さ × 時間

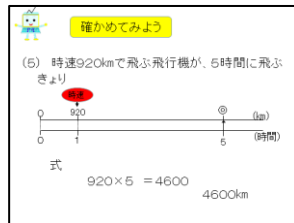
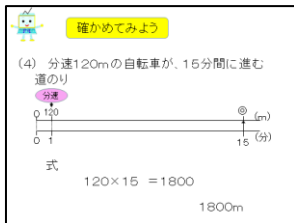
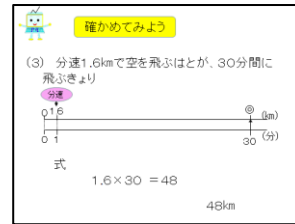
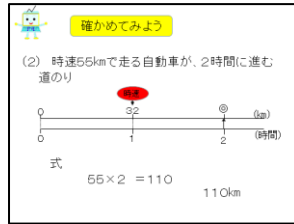
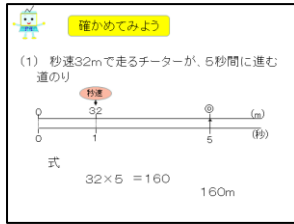


(5) 練習問題を解く。

T 数直線図に表して、答えを求めましょう。

※ プリント参照

※ スライドで問題の解答を提示する。



(6) 本時のまとめをする。

※ 分かったことをノートにまとめさせる。

5 板書計画

数量の関係を数直線図に表し、道のりを求めよう。

時速 120kmで走る電車があります。
この電車が、3時間走り続けるとすると、何km進むでしょう。

120km → 電車の時速

3時間 → 電車が走り続けた時間

◎ → 電車が走んだ道のり

(ア) 数直線図に表す。

120 × 3 = 360 360km

(イ) 線分図に表す。

120 × 3 = 360 360km

道のり = 速さ × 時間